

八代市国土強靱化地域計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

1 意見募集の期間 令和8年1月23日（金）～令和8年2月13日（金）

2 意見の件数 1件

3 意見の取扱い

- ・寄せられた意見をもとに、計画（案）の修正を行うものについては、反映欄に「○」を付けています。
- ・上記以外については、今後の参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	意見の概要	本市の考え方	反映
1	P61 (46) 下水道、農業 集落排水処理施設及 びし尿処理施設等整 備による施設の機能 確保	<p>・推進方針に以下文言を追加 「停電時及び断水時にマンホールトイレ、生活用水として防災井戸を設置し、手動ポンプ（揚程50m）により水洗式防災トイレを活用します。」</p> <p>・主な取組に以下文言を追加 「八代市下水道総合地震対策計画を策定し、市内の小中学校、コミュニティセンター等に防災井戸を活用した水洗式防災トイレを設置」</p>	<p>・本市では、災害時における生活水の給水源として、公共施設や学校施設の貯水施設等を活用することに加え、生活用水等に使用可能な井戸を所有している市内企業等においては、災害時に活用ができるように協定締結を進めています。</p> <p>なお、ご提言いただいた内容については、次の施策で進めていくこととしております。</p> <p>(9) 公共施設等の防災機能強化 (17) 都市公園の整備及び災害対応の機能強化 (45) 生活水の確保</p> <p>【防災井戸の状況（令和8年2月1日現在）】</p> <p>①公園や学校施設、コミュニティセンター等の施設整備時に設置（市内11か所） ②協定を締結した事業者数 22事業所</p> <p>・「下水道総合地震対策計画」については、DID地域（人口集中地区）を有する都市など地震対策に取り組む必要性の高い地域において、下水道の地震対策を重点的に推進することを目的に策定するものです。</p> <p>これまで本市では、限られた予算の中で、優先的に「下水道の未普及地域解消」と「治水対策」を進めており、膨大な費用と時間が必要となる下水道施設の耐震化については、一部着手をしているものの、本計画は策定しておりません。</p> <p>ただし、能登半島地震をきっかけに、下水処理場や下水道管の最終合流地点～下水処理場区間の「急所施設」及び、避難所や医療機関等の「重要施設」に接続する下水道管の耐震化の必要性が再認識され、上水道・下水道一体的な耐震化を図るために、令和7年1月に「上下水道一体耐震化計画」を策定しております。今後は本計画に基づき耐震化事業を進めて行く予定です。</p>	